

# 持ち回り審議ご意見一覧



# **①橿原市第4次総合計画**



全体			
番号	ご意見内容	回答欄	回答の分類
1	第4次総合計画 基本計画 体系表の目指す姿・想定指標において、政策を評価する指標として、「・・・と感じる市民の割合」といった市民アンケートを用いた市民の主観的評価のみが挙げられているが、客観的指標を用いた政策評価も必要とでは。例えば、保健・医療の分野では、橿原市の平均寿命、健康寿命、総医療費、特定健診受診率が、県平均や全国平均値と比較して、どの程度かといった点を考慮する必要があるのではないですか。	客観的指標を用いた評価は基本計画に体系付けられる事務事業の評価で取り入れます。施策レベルでの評価は主観的指標を用いるべきと考えます。確かに、健康・医療の分野では平均寿命等の指標を用いることは可能だと思いますし、奈良県の方でもそういったデータを取られていることも確認しましたが、その他の施策分野においては客観的指標を用いることが困難なものもございます。1つの施策分野で用いて、他の施策分野で用いないということはできませんので、主観的指標のみで設定したいと考えております。ちなみに、客観的指標を用いる事務事業の評価については、毎年実施する予定であり、市民向けにも公表されます。施策の評価については、毎年実施せず、中間年と最終年での実施を想定しております。	5.反映が難しい項目
2	施策によって市民の生活がどうなるのかがわかるような記述をお願いします。	基本計画において、各施策分野ごとに「目指す姿」を設定します。各施策を実行していくことにより、まちの目指す姿に近付いていくことを目標としております。	2.既存の内容で反映している項目
3	重要なテーマについては、他の分野からも応援して実現することがあってもいいのではないのでしょうか。	重要なテーマについては、総合戦略が該当し、総合戦略の取組みについては組織を横断して実行しことが原則になります。また、総合計画の各施策分野についても、組織を横断して実行していかなければならないものは、部局間で協力して実行していきます。	6.質疑の回答
4	基本計画 取組みシートの「現状・課題」欄の各項目に「手段」の記載がないのは、現状では手段としての施策が実施されていないということでしょうか。	「現状・課題」の右にある「取組み例」が「手段」に該当します。第4次総合計画については、第3次総合計画と同様に、現状と課題に対してどのような取組みをしていくかという構成になっております。「現状・課題」に対して「取組み例」が1対1で対応した形で表現しておりませんが、「現状・課題」の全てに対して「取組み例」の全てで対応していくということになります。また、基本計画には毎年策定する「実施計画」が体系付けられております。「実施計画」は総合計画の冊子に記載されませんが、基本計画を実行していく事務事業の計画となるものです。	6.質疑の回答
5	基本計画 取組みシートの「●印」と「戦略的要素」の違いは何でしょうか。	戦略的要素については、「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」に体系付けられる取組みになります。総合計画は行政の全般的な計画であり、全ての取組みを記載しますが、総合戦略は人口減少対応に特化した取組みを記載するものです。	6.質疑の回答
6	主に基本計画について、今回の新型コロナウイルスによる影響は、感染終息までの一時的なものには収まらず、今後の社会経済のあり方にまで及ぶのではないかと意見がメディア等で見られます。このような時期に策定する計画においては、ポストコロナ時代に求められる施策も位置づけることが望ましいのではないかと考えます。今後の状況が見通せない現時点では、具体的に記載することは難しいかもしれませんが、何らかの記述は必要だと思います。この点について、本計画でどのように取り扱うか検討が必要ではないのでしょうか。	新型コロナウイルスについては、橿原市も大きな影響を受けました。しかし、新型コロナウイルスについてはワクチンの完成により終息するのか、インフルエンザウイルスのように予防接種等をしつつ共存していくのか等の今後の見通しが立っていません。また、新型コロナウイルス以外の新型ウイルスの流行や自然災害との複合的な発生も想定されることから、新型コロナウイルスに絞っての記載ではなく、あらゆる事態に対応していく記載にしております。	4.今後十分に検討すべき項目
7	基本計画 取組みシートにおける戦略的要素とはどのようなものを指すのでしょうか。また、農業関係では戦略的要素はないのでしょうか。	戦略的要素については、「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」に体系付けられる取組みになります。農業については、橿原市の第2期総合戦略に体系付けられておらず、戦略的要素となっております。	6.質疑の回答
8	基本計画の体系表において、目指す姿と想定指標がありますが、前総合計画にあったような現状と課題や今後の取り組みのような、目指す姿を実現するためのもう少しメリハリをつけた具体的な内容を示すべきではないでしょうか。	第3次総合計画においては、確かに「現状と課題」と「取組み」に関して具体的な記述がされております。第3次総合計画が策定された12年前とは社会情勢が変化しており、社会の変化がより急激なものとなっております。例えば、啓発や周知の方法一つを取っても、その方法は広報紙やチラシ等の紙媒体中心からスマホ等のデジタル媒体中心へと変化しております。今後もこのような急激な社会の変化が予想されますので、具体的な記述を避け、柔軟に変化に対応していくため抽象的な表現にております。	6.質疑の回答
9	今回は取り組み例を列挙しただけで、実際の基本計画では、取捨選択し、もう少し具体的な取り組みを記述するのでしょうか。さらに、施策方針は変更しないということですが、施策方針と目指す姿との関係も希薄に感じます。施策方針に、取り組み例にあるような方針を盛り込むことはできないでしょうか。（前総合計画にある「都市住民との交流の推進」のような表現。）	実際の基本計画においても、現在の取り組み例をそのまま記載します。取捨選択はせず、抽象的な表現に留めます。理由については、8の回答と同じになります。また、施策方針は「目指す姿」が該当し、目指す姿に近付くことを目標とし、こちらも具体的な記述をしない方向です。	2.既存の内容で反映している項目

基本構想			
番号	ご意見内容	回答欄	回答の分類
1	P4（新型ウィルスによる新たな危機）に追加 社会の脆弱な点に気づかされるとともに、新しい働き方など生活について多くの経験をしました。この積み重ねを 行政に生かすことが求められてくると思われます。	新しい生活様式については、検証が充分できているわけではなく、新型コロナウイルスが今後なくなるのか、共存 するのかわ変わってきますので、具体的な記述ができる段階ではなく、言及は難しいかと思われます。	4.今後十分に検 討すべき項目
2	P13 4市の現状(3)産業の姿（増加傾向にあった観光者数） 6行目～ 観光客は減少するものと見られます。 →観光客は一時的に減少し、その後の回復は魅力とともに安心感のある地域ごとに差が出てくると思われます。	新型コロナウイルス感染症により、橿原市においては観光客数が変化すると思われますが、その後横ばい、もし くは増加などの推移の見通しがたっていないため、具体的な言及は難しいかと思われます。	5.反映が難しい 項目
3	P4（新型ウィルスによる新たな危機）国・県の役割と市の役割を明確にする必要があります。（市として市民に 何をすべきか、一定の基準を設けたうえで、実施することが求められる。）	国・県の役割と市の役割は、市を越えて統一的に実施するものと、市でしかできないものを今後国等も含めて検 証し、整理することは重要です。一方で、「市の役割ではないので実施しない」ではなく、国や県と連携し、柔軟に 対応していく視点も求められるかと思われます。また、今後は県も含めた圏域マネジメントの考え方も重要になっ てくると思われ、基本計画においても表現しております。	4.今後十分に検 討すべき項目
4	P4（人口減少社会）の項目3「こどもの体力づくり」と項目5「知恵の創出者としての資源」 こどもの教育環境づくりも求められているのではないですか。	項目3の記述は健康と人口減少対策が主眼ですので、子どもの教育環境づくりについては少し馴染まないように 思われます。また、経営資源における「人」については、考え方が変わってきたという現状を述べている部分で すので、具体例を入れるなら子どもだけに限るものではなくってくるため、具体例は省略しています。	5.反映が難しい 項目
5	P4（新型コロナウイルスによる新たな危機）の項目2 「スムーズかつ的確に…」の方がよいのではないですか。 「どういう」ではなく「どのような」に改めてください。	12番のご指摘と併せて表現を修正します。	1.反映した項目
6	P6（1）まちの姿の中に全角と半角の数字があるので、統一してください。	ご指摘のとおり修正します。	1.反映した項目
7	P4（新型ウィルスによる新たな危機） 今回の経験を踏まえ、今後の自治体経営において、「経済効率重視」の経済社会システムから、感染症拡大や 大規模災害時においては、市民の安心・安全を優先する「健康安全重視」の社会システムに、できるだけ円滑に 切り替えられる柔軟な行政運営を志向することが重要となり、よりICTや先端技術の活用も重要となります。	第4次総合計画の方向性としては、あらゆる事態に対応していくため、スピードと柔軟性を重視しています。ICTや 先進技術の活用も重要となってきますが、この説明は現状の社会情勢について触れるところであり、ICTや先進 技術のみに特化することは困難であると思われます。「柔軟な行政運営」については、政策の土台でも目指すこ ところありますので、付け加えます。	4.今後十分に検 討すべき項目
8	P5（ICTの急速な普及と社会の変化） IoT（モノのインターネット）やAIなどの新たな技術の進歩およびコロナショックも相まって、人々のライフスタイル や社会経済システムが大きく転換し、「Society5.0（仮想空間と現実空間の高度な融合）」の先の我が国 の未来社会のビジョンが必要とされており、ネットワーク空間の活用が非常に重要となります。	Society5.0については、政府として取り組んでいるものであり、地方自治体としても先進技術の活用と新型コロナ ウィルスの感染拡大防止も含めて、想定していかなければならないことです。しかし、現状としては政府としての 具体的なビジョンが見えておらず、総合計画に具体的な内容を記載することは困難であると考えます。	4.今後十分に検 討すべき項目
9	P5（多様性の尊重と支え合い） 幸福度的な考え方を入れたらどうでしょうか。	「幸福度」は個人の主観的な尺度によるものであり、第4次総合計画においても主観的な指標を設定しており ます。また、政府においても「幸福度」を視点に取り入れた政策を実施されています。しかし、政策や施策の結果と して、「幸福度」にどのような反映がされるのか検証が不十分と思われるため、言及は避けています。	4.今後十分に検 討すべき項目
10	P13 4市の現状(3)産業の姿（増加傾向にあった観光者数） 一方で、仮想空間と現実空間の高度な融合により、ネットワーク空間上での「外部と奈良県東部エリアとの新たな 関係人口」についての研究も進めていくことが重要ではないですか。	Society5.0については、政府として取り組んでいるものであり、地方自治体としても先進技術の活用と新型コロナ ウィルスの感染拡大防止も含めて、想定していかなければならないことです。しかし、現状としては政府としての 具体的なビジョンが見えておらず、総合計画に具体的な内容を記載することは困難であると考えます。	4.今後十分に検 討すべき項目
11	P4（新型コロナウイルスによる新たな危機） 「緊急事態宣言が発令されました」に〇書で発令期日を記載してはどうですか。	発令期日については延長がなされたり、今後も再度発令される場合も考えられるため、記述は難しいかと思われ ます。	5.反映が難しい 項目
12	P4（新型コロナウイルスによる新たな危機） 「ウイルス感染発生時においては、まず、発生源からの感染を防止する体制が求められます。また、医療崩壊を 防止し、治療や見守りを要する罹患患者を取り残さない体制が求められます。初動から拡大防止、収束、日常へと スムーズかつ的確に対応するため、必要な要請や支援策、そして緩和策を事前に備えておく必要があります。」 に修正してはどうですか。	ご指摘のとおり修正します。	1.反映した項目
13	P4（災害をはじめとする様々な危機の高まり） 1つ目「大規模な地震や風水害が頻発し、自然災害が激甚化しており、インフラの強靱化や管理、支援体制の整 備等、災害に備えることが必要です。また、複合的に起こる災害等、これまで想定されなかった危機に対する備 えも求められています。」に修正してはどうですか。	近年は、10年に1度や100年に1度と言われる大規模な自然災害が頻発しています。また、今後は、自然災害と新 型コロナウイルス感染症の流行のような、これまで想定されていなかった複合的な災害が生じる可能性もあります。そう いった、これまで想定されていなかった災害に対してどのように備えていくのかということを表現しております。	5.反映が難しい 項目
14	P4（人口減少社会） 4つ目「現役世代（の労働力）を補うため…」のように〇内を追加してはどうですか。	「現役世代を補う」という表現は確かに違和感があり、「労働力」には単純な労働だけでなく、地域活動等も含まれ ますので、修正します。	1.反映した項目

基本構想			
番号	ご意見内容	回答欄	回答の分類
15	P4（人口減少社会） 5つ目は 最新技術の発展以前から人は知恵を出して生産活動をしてきていると考えますので、あえてこの項目は書く必要がないと思います。	大量生産大量消費社会で単純労働作業が多くあった時代から、ロボットやAIによって単純作業が代替され、ひとつの商品に高付加価値をつけていく時代にシフトしつつある中での、人に求められることの変化に対する説明です。	5.反映が難しい項目
16	P5（ICTの急速な普及と社会の変化） 3つ目「情報セキュリティや個人情報保護（の確保）を図った上で…」のように()内を追加してはどうですか	保護と確保は類似の表現となっていると思われます。	5.反映が難しい項目
17	P20 政策の目標と行政運営の方向性について ①「どのような」を「全ての」に変えてはどうですか。	ご指摘のとおり修正します	1.反映した項目
18	P13 4市の現状(3)産業の姿（増加傾向にあった観光者数） 今後、東京オリンピック・パラリンピックに続き～ とありますが、2021年5月にワールドマスタースゲームズ2021関西が予定されています。	ご指摘のとおり修正します。	1.反映した項目
19	P4（新型コロナウイルスによる新たな危機） 新型コロナウイルスの影響について、主に緊急時の対応等について記載されていますが、感染終息後の社会の変化についても触れてはいかがでしょうか。	新型コロナウイルスについては、橿原市も大きな影響を受けました。しかし、新型コロナウイルスについては、ワクチンの完成により終息するのか、インフルエンザウイルスのように予防接種等をしつつ共存していくのか等の今後の見通しが立っていません。検証も不十分であり、具体的な記述ができる段階ではなく、言及は難しいかと思われます。	4.今後十分に検討すべき項目

基本計画 取組みシート			
政策① みんなが活躍し、個性輝くまち			
番号	ご意見内容	回答欄	回答の分類
1	3 子育て・子育て <子育て支援> ★子育て世帯の相互交流、[子育ての先輩の援助など地域の支援]を促進します。 [ ]内を追加(説明)先輩お母さんが見守るなど、地域が支えることも大切かと思います。	実施計画に記載していく内容と思われます。	3.実施計画にて反映していく項目
2	5 科学・文化芸術 <図書館> ●[交通利便性を活かす等利用の利便性向上を検討し、]中中和の「知の拠点」としての図書館運営を行います [ ]内を追加(説明)通勤、通学、買い物等の際に気軽に図書館を利用できることに力を入れている図書館があります。	実施計画に記載していく内容と思われます。	3.実施計画にて反映していく項目
3	1 保育・幼児教育 <体制> 病児保育、病後児保育の取組が必要ではないですか。	橿原市においても、病児保育・病後児保育は既に実施されております。「●多様な就労形態や保護者にニーズに対応するための保育を実施します」に含まれており、実施計画に記載していく内容と思われます。	3.実施計画にて反映していく項目
4	2 学校教育 <内容> これからは個性の時代です。こどもが興味を持っている事、個性を伸ばすための施策、例えば、大工さんや窯業、農業などものづくりやITや、外国語に興味があるこどもの個性をより醸成できるような、特化したシステムが必要であると思います。橿原から県内外に発信し、移住してもらうことで、結果的に人口増加の一助になるのではないですか。	「●一人ひとりの子どもの個性を尊重しつつ、生涯学習の基礎基本の習得を促す教育環境を保ちます」「★外部専門家や、地域の人材を活用した授業を実施します」で含まれており、実施計画に記載していく内容と思われます。	3.実施計画にて反映していく項目
5	5 科学・文化芸術 <文化芸術・文化ホール> 文化芸術がどこでも、いつでもいっぱい香るまちづくりをアクティブに取り組んではどうか。例えば庁舎や文化ホール、学校、駅、電車、バス、大規模店舗、商店街などあらゆるシーンで、行政が仕掛けた音楽が聴こえる。また、誰でも弾けるピアノを設置しても良い。橿原市民は、幼児の頃から音楽があふれているという状況は、市民の文化意識の高揚に資すると思われる。又、対外的にも素敵なことだと思います。市民の要望に応えるだけでなく、アクティブに取り組むことも必要ではないですか。	「●多彩な文化芸術の鑑賞機会を創出します」「●市民の学び・創作・発表の場及び機会を創出します」に含まれており、実施計画に記載していく内容と思われます。	3.実施計画にて反映していく項目
6	1 保育・幼児教育 保育・幼児教育分野の取組み例が他の分野と比べて具体性に乏しく、内容も少ないように感じます。もう少し具体的なことを盛り込むべきではないですか。	以前の総合計画においては、「現状と課題」や「取組み」に関して具体的な記述がされております。しかし、昨今は社会情勢が変化しており、社会の変化がより急激なものとなっております。例えば、啓発や周知の方法一つを取っても、その方法は広報紙やチラシ等の紙媒体中心からスマホ等のデジタル媒体中心へと変化しております。今後このような急激な社会の変化が予想されますので、具体的な記述を避け、柔軟に変化に対応していくため抽象的な表現にしております。	6.質疑の回答
7	1 保育・幼児教育 <内容> や<施設>に戦略的要素はないのですか。	戦略的要素とは、「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」に体系付けられる取組みであり、人口減少に対する地方創生としての取組みとしております。保育士・幼稚園教諭の処遇改善については、当市として特色ある、人口減少に対する地方創生としての取組みと言えますが、その他は人口減少に対する地方創生としての取組みとは言えない現状となっております。	6.質疑の回答
8	1 保育・幼児教育 <体制> 「●幼稚園・保育所・認定こども園等が相互に情報共有・連携をします」とは何を目的にどう連携を取るのですか。	①すべての子どもが健やかに成長できる環境づくりと子どもの成長によるこびと楽しさが実感できるために、幼稚園・保育所・認定こども園の乳幼児期の保育・教育を推進し、身近な情報を機会あるごとに共有・連携します。 ②これからの橿原市の子ども達を育てるため、安全・衛生などの観点や国や県情報などを共有・連携します。 ③子育てに関する情報を積極的に共有・連携します。(こども未来課回答)	6.質疑の回答
9	1 保育・幼児教育 <内容> 「●保育サービスについての詳細な情報を提供します」は今までと同じなので何か工夫はないのですか。	①各園のホームページを立ち上げ、ホームページにこども園の情報を提供するとともに子育てに関する情報を分かりやすく提供します。 ②安心して子供を産み育てる環境のための施設の充実と質の高い乳幼児期の保育・教育を総合的に行う情報をホームページから提供します。(こども未来課回答)	6.質疑の回答
10	3 子育て・子育て <子育て支援> 「★子育てサークルへは保育士を派遣するなどの支援を行います」の「は」は不要だと思われます。	ご指摘のとおり修正します。	1.反映した項目
11	2 学校教育 <内容> 教育に、「アントレプレナーシップ教育」を入れてはいかがですか。外部専門家の活用もあるので、最近このような活動を中学校にも広げています。https://www.japandeca.org/。	「★ICT・グローバル化に対応した教育を推進します」「★外部専門家を活用した授業を実施します」に含まれております。実際に起業教育である「アントレプレナーシップ教育」を実施していくことは、実施計画に記載していく内容と思われます。	3.実施計画にて反映していく項目
12	5 科学・文化芸術 科学の分野かどうかはありますが、コロナで大活躍した「シビックテックの活用」について触れておくことが重要と考えます。市民例えば、デジタルプロ市民の活用として、Code for Naraとの連携などを具体的に触れることも重要かと思います。https://code4nara.org/。	市民自身がテクノロジーを活用して地域の問題を解決する「シビックテック」の概念は、今後も進歩を続ける先進技術を活用していくうえで、非常に重要であると思われます。内容として非常に具体的であり、今後の情勢を見据えながら、実施計画に記載していく内容と思われます。	3.実施計画にて反映していく項目
13	2 学校教育 <内容> 「★外部専門家(や、地域の人材)を活用した授業を実施します」のように()内を追加してはどうですか。	「★地域と連携して、それぞれの事情に応じた特色ある学校づくりを進めます」にて、地域の人材活用を表現しております。	2.既存の内容で反映している項目



政策① みんなが活躍し、個性輝くまち			
番号	ご意見内容	回答欄	回答の分類
14	2 学校教育 <内容> 「★権原で学び育ったことを誇らしく感じられるような郷土愛を育む教育を推進します」 大切なことだと思います。この推進のためには教職員研修の充実が不可欠と考えます。郷土愛を育むための教育内容を市教委として提示することも大切だと思います。	実施計画に記載していく内容と思われます。	3.実施計画にて反映していく項目
15	2 学校教育 <施設> 「★保護者や地域、関係機関と連携した通学路の安全確保を図ります」 各校区ともかなり定着しているように思われます。	引き続き安全確保に努めます。	
16	4 生涯学習・社会教育 <生涯学習> 「●学習の成果を発表する機会や学習の成果を地域づくりに活かせるような機会を創出します」の「ような」が不要かと思えます。	ご指摘のとおり修正します。	1.反映した項目
17	4 生涯学習・社会教育 <生涯学習> 「●学習の成果を発表する機会や学習の成果を地域づくりに活かせるような機会を創出します」とありますが、学習したことを個人ではなかなか地域で生かしていくのは難しく思います。初めの段階として、市教委としてのモデルケースを示していただけないかと思えますので、★印にしてみらうのはどうですか。	先駆的な取組とするよりは通常していくべき取組という意味合いが強いかなと思われますので●印とさせていただきます。	5.反映が難しい項目
18	3 子育て・子育て <子育て支援> 3人乗り自転車貸与の取組みを載せるべきではないですか。 子育て中の多子世帯へ外出や社会参加を通じて育児不安の解消を図り、子育て世帯の経済的負担を軽減するためです。	幼児2人同乗用自転車購入費の一部助成の制度のことかなと思われますが、<母子保健・支援>「●法令に基づく各種の給付等により子育て家庭を支援します」に含まれています。実施計画に記載していく内容と思われます。	3.実施計画にて反映していく項目
19	3 子育て・子育て <家庭相談> 児童虐待について、「全民児連 児童虐待防止緊急アピール2019」が決議されたので、その取組みを発表させていただきます。	審議会当日発表します。	
20	2 学校教育 <内容> 政策②「みんなが健やかに、支え合って暮らせるまち」につながるヘルスリテラシーを身につける取り組みが学校教育の中でも必要ではないかと考えます。	「ヘルスリテラシー」という文言は使用しておりませんが、7 保健・医療の施策分野に記載されております。その他にも、「環境教育・環境学習」は、実際には教育分野で実施しますが、18 地球環境に記載されております。	2.既存の内容で反映している項目

政策② みんなが健やかに、支え合って暮らせるまち			
番号	ご意見内容	回答欄	回答の分類
1	7 健康・医療 <保健> ★[市民が健康な生活習慣を身につけられるよう、]健康についての学習機会を提供するとともに、適切な保健指導を行います。 [ ]内を追加(説明)保健師の方が市民が健康に向かう生活習慣を身につけられるよう指導することで、社会保障費の増加を抑えようと取り組む市があります。	実施計画に記載していく内容と思われます。	3.実施計画にて反映していく項目
2	7 健康・医療 <健康づくり> ★[公共空間を健康づくり活動の場として提供するなど、]地域の健康づくり活動を支援します。 [ ]内を追加(説明)例えば集まる場としての公園や公民館、散歩コースとなる道路など、公共施設を健康づくり活動の場として活用する取り組みが広がり、健康づくりのほか、公共施設の維持管理などの役割も期待されています。	実施計画に記載していく内容と思われます。	3.実施計画にて反映していく項目
3	9 高齢福祉 <社会参加・いきがい> ●高齢の方と地域住民がかかわりを持つ機会を増やし、[子育て支援、公共施設管理、文化の担い手などの役割を果たすことで、]社会参加の促進に努めます。 [ ]内を追加(説明)役割を果たしていると認識していただくことが、動機づけとともに、心の健康にも役立ちます。	実施計画に記載していく内容と思われます。	3.実施計画にて反映していく項目
4	9 高齢福祉 <社会参加・いきがい> ●身近な場所で継続的に健康づくりや介護予防に参加できるよう、[健康づくりに取り組む民間企業や団体と連携して]支援を行います。 [ ]内を追加(説明)健康がビジネスとして育ちつつあるので、その力を借りることができると思います。	実施計画に記載していく内容と思われます。	3.実施計画にて反映していく項目
5	7 健康・医療 <保健> 「榎原市新型コロナウイルス等対策行動計画」について、新型コロナウイルスについての取組みも特記する必要があるのではないですか。	新型コロナウイルスについては、今後の見通しが立っておらず、計画期間前に終息する可能性もあれば、計画期間中に終息しない可能性もあります。計画期間中に新型コロナウイルスに関する取組が実施されない可能性もあることから、言及していません。	4.今後十分に検討すべき項目
6	7 健康・医療 市民一人一人が自らの医療・健康データを意識する環境づくり、等を追記したらいかがでしょうか。	実施計画に記載していく内容と思われます。	3.実施計画にて反映していく項目
7	8 地域福祉 <地域福祉活動> 障がい者と地域とのつながりや地域共生社会に向けた包括的支援の記載が必要ではないですか。また、後継者作りに大変苦労をしている	前段は「●障がいのある人の社会参加を促進します」に含まれております。後段は「●障がいのある人の生活を地域全体で支え、家族の不安を解消する体制を構築するため、地域生活支援拠点を整備します」に含まれております。	2.既存の内容で反映している項目
8	8 地域福祉 <生活困窮者支援> フードレスキューの取組みの記載が必要ではないですか。生活困窮者等に対して食料品現物支給を行い自立支援につなげる必要があります。	実際の取組みは社会福祉協議会で実施していただいており、「●関係機関と連携し情報共有を図りながら、一人ひとりの課題に応じた包括的な支援を行い、生活困窮者の自立を支援します」に含まれております。実施計画に記載していく内容と思われます。	3.実施計画にて反映していく項目
9	9 高齢福祉 <認知症・権利擁護> 2025年には団塊の世代が75才以上となり、認知症も700万人とも言われています。又、予備群と言われるひとが1400万人とも言われています。早く対策を講じる必要があると思います。	ご指摘のとおりであり、<認知症・権利擁護>で認知症予防や認知症の方への支援、周囲の方への啓発等の取組みを記載しております。具体的な内容は実施計画に記載していく内容と思われます。	3.実施計画にて反映していく項目
10	10 障がい福祉 <相談・支援> 障がい者と地域とのつながりや地域共生社会に向けた包括的支援の記載が必要ではないですか。また、後継者作りに大変苦労をしている	前段は「●障がいのある人の社会参加を促進します」に含めております。後段は「●障がいのある人の生活を地域全体で支え、家族の不安を解消する体制を構築するため、地域生活支援拠点を整備します」に含まれております。	2.既存の内容で反映している項目
11	11 市民協働 現状・課題① 協働事業の担い手として、NPO・ボランティア活動と並記されておりますが、NPOは特定非営利活動法人で法人として雇用形態が確立された事業体でボランティアとは異質の活動を行っている団体として認識していただく方が良いかと思います。	ご指摘のとおり、NPOとボランティアの活動は異質でありますので、分けての記述としております。	6.質疑の回答
12	8 地域福祉 現状・課題① 地域福祉の活動は、年々高齢化が進んでおり、若い人材の育成をしていかなければならないと思います。	前段は「●障がいのある人の社会参加を促進します」に含めております。後段は「●障がいのある人の生活を地域全体で支え、家族の不安を解消する体制を構築するため、地域生活支援拠点を整備します」に含まれております。	2.既存の内容で反映している項目

政策③ みんなが安全に、快適な環境で生活できるまち			
番号	ご意見内容	回答欄	回答の分類
1	13 防災 ＜防災＞ ★小中学校における防災教育を推進し、[自分で身を守る意識と知恵を高めます。]	防災教育の目的は、「第一に身を守る、第二に地域の安全に役立つことができるようにする、第三に自然災害の発生メカニズムをはじめとした災害・防災についての基礎を理解する」とされています。これを絞って記述することは難しいと思われます。	5.反映が難しい項目
2	13 防災 ＜災害対応＞ ●防災マニュアルを浸透させ、[行政、避難者も含めた市民、民間が各々役割を果たして]災害に即時対応できる体制を確立します。	避難者には市外在住者もいる等の可能性があるため、役割を明確にすることは難しいと考えます。ただ、何らかの方法は検討する必要がありますので、実施計画に記載していく内容と思われます。	3.実施計画にて反映していく項目
3	13 防災 ＜災害対応＞ ●[被災地で必要なものが何か把握し、情報発信する仕組み、ボランティアなど来援する組織との平時からのネットワーク等。]災害時受援体制を整備します。 [ ]内を追加(説明)阪神淡路、東日本大震災等の知見を踏まえてと思います。 ・鵜住居小学校、金石東中学校、請戸小学校などの例がありました。 ・避難所では行政の人数ではとても足りず(避難者10名に最低1名は必要)、避難者の中から食事の配給、物資の整理等様々な業務にあたる人をお願いしました。 ・避難が長期化すると送られてくる支援物資(大半が食料と衣類)と、現場で必要なもの(例えば様々な衛生用品、電池・・・)が乖離してきます。	実施計画に記載していく内容と思われます。	3.実施計画にて反映していく項目
4	15 交通 ＜交通ネットワーク＞ ●[通院、買い物など生活場面の利便性を意識したネットワーク、施設、情報提供等の工夫を行って、]公共交通の利用促進に取り組みます。 [ ]内を追加(説明)生活での使い方を意識したサービス提供で利用者増に取り組む地方のバス会社(十勝バス)があります。	実施計画に記載していく内容と思われます。	3.実施計画にて反映していく項目
5	16 道路・橋梁・河川 ＜道路・橋梁＞ 全ての取組みについて、 (説明)市民生活にとって道路整備がどんな役割を果たすのかが伝わるような記述をお願いできればと思います。	実施計画に記載していく内容と思われます。	3.実施計画にて反映していく項目
6	13 防災 ＜消防＞ 「●消防団員の人材確保に努めるとともに、団員の災害対応力を向上させます」の「向上させます」を「取組みます」か「図ります」に変更してください。	「向上を図ります」に修正します。	1.反映した項目
7	16 道路・橋梁・河川 ＜道路・橋梁＞ 健康、スポーツという観点からサイクリングロードの整備も必要なのではないですか。	橿原市だけを周遊する自転車道は、市内に国道24号線・165号線・169号線・中和幹線等東西南北に幹線道路があり、市単独での整備は困難であると考えます。しかし、奈良県では、奈良自転車道や飛鳥葛城自転車道、飛鳥川沿いの大和中央自転車道等自治体をまたがる自転車道が数多く整備されており、県全体でどのように活用するか検討の余地はあると考えます。	4.今後十分に検討すべき項目
8	18 地球環境 ＜ごみ減量・資源＞ 「●ごみを出さない生活習慣が定着するよう、市民や事業者に啓発に行います」について、学校の児童・生徒への講評による啓発も必要ではないですか。	＜環境保全・環境配慮＞「●環境教育・環境学習を行います」に含まれます。	2.既存の内容で反映している項目
9	13 防災 ＜災害対応＞ 「●有事の際の情報伝達や情報収集について、ICTを活用した防災関係機関との連携に努めます」について、★にしたいかがですか。我が国ではICT活用が十分ではないためです。	総合戦略において、基本目標④「安心・安全・健康を支えるコミュニティ形成」としており、コミュニティの形成による地域の活性化を主眼にしていることから、ICTの活用による関係機関との連携の強化は戦略的要素に該当しないと思われます。	5.反映が難しい項目
10	15 交通 ＜交通ネットワーク＞ 少子高齢化の進行により、自動車を運転できない交通弱者の増大が予想され、公共交通の果たす役割は重要だと思います。自治体では、住民福祉の向上を図り、高齢者の免許返納に当たり、コミュニティバスの運行は重要だと思います。	高齢化の進行により、交通弱者の増大が予想され、コミュニティバスを含めた公共交通の役割は重要となってきます。一方で、今回の新型コロナウイルスの影響により、「密」となる公共交通のあり方についても考えていかなければなりません。今後の情勢を見据えながら、実施計画に記載していく内容と思われます。	3.実施計画にて反映していく項目

政策④ みんなが活力と魅力を生み、賑わい溢れるまち			
番号	ご意見内容	回答欄	回答の分類
1	21 公園・緑地 <緑地> ●[高齢者の生きがい、市民の健康、コミュニティの維持・形成などの面でも効果がでるよう]に工夫しつつ、]市民協働による市街地の緑化・美化を推進します。 [ ]内を追加(説明)緑化の活動は市民が取り組みやすい活動なので、高齢者の社会参加や市民の健康づくりなどの動機づけの役割も果たせればよいと思います。	実施計画に記載していく内容と思われます。	3.実施計画にて反映していく項目
2	22 まちづくり・景観 <土地利用・まちづくり> ●[安全、健康、子育て等、市民のよりよい生活を実現する視点で、]適切な土地利用へと誘導します。 [ ]内を追加(説明)まちづくりにあたって、人口減少、高齢化等への対応を意識する必要があると思います。	実施計画に記載していく内容と思われます。	3.実施計画にて反映していく項目
3	23 歴史・文化財 <今井町> ●[修景、活用等の活動を行う住民、民間団体との協働を盛んにし、]今井町の歴史的建造物等を保存・活用するとともに、歴史的町並み景観の向上に努めます。 [ ]内を追加(説明)ビジネスチャンスを提供することで、保存修景に民間の力を活用できればと思います。	実施計画に記載していく内容と思われます。	3.実施計画にて反映していく項目
4	25 商工業・しごと <雇用・就業> ●働き方の見直しや働きやすい職場環境づくりに向けた意識啓発を行うとともに、[テレワーク等新しい働き方に対応する環境づくりに、地域としてできることを検討します。] [ ]内を追加(説明)今回のコロナへの対応で、テレワークができる環境が人口の社会増につながる可能性があると感じました。	実施計画に記載していく内容と思われます。	3.実施計画にて反映していく項目
5	26 農業 <農業従事者> ●[農福連携など多様な分野とも協働し、]農業担い手の確保、育成を行います。 [ ]内を追加(説明)農福連携は、農業分野では担い手確保、福祉分野では社会参画の効果をもつ施策として取り組む市が増えてきました。	実施計画に記載していく内容と思われます。	3.実施計画にて反映していく項目
6	21 公園・緑地 <公園> 高齢者用に配慮した遊具も必要ではないですか。	「子どもの遊び場・健康運動の場・憩いの場」≠子どもの「遊び場・健康運動の場・憩いの場」ではなく、「子どもの遊び場」「健康運動の場」「憩いの場」であり、遊具にしても子どもに限定しているわけではありません。	2.既存の内容で反映している項目
7	21 公園・緑地 ICTを活用した公園・緑地のスマート化による運営管理の効率化と市民サービスの充実が必要ではないですか。奈良で実施しているので、この取り組みを参考にしてください。https://www.kkr.mlit.go.jp/asuka/heijo/psc/。	具体的に記載していくことは難しいですが、「●柔軟な発想により運営管理の効率化を行い、公園のストック効果を高めます」という取組みを加えます。(緑地景観課回答)	1.反映した項目
8	22 まちづくり・景観 まちづくりに、「スマートシティ推進」と明記していかがですか。内閣府・国交省・経産省。総務省合同で、本年度スマートシティガイドライン作成の委員会が立ち上がる予定です。加えて、日本都市計画学会でスマートシティ特別委員会が立ち上がります。今年度よりスマートシティ政策はより推進することとなりますので どこかに、ポストコロナ社会への対応としての、都市部を補完する二都市/多都市居住の拠点などの記載まで踏み込んではいかがですか。	市全体のまちづくりとして「スマートシティ推進」を表記することは、今後の予算や政策推進の観点から困難なことと考えます。しかし、例えば、医大周辺のまちづくりにおいてスマートシティの要素を含んだまちづくりを推進していくこと等のことは可能であり、実施計画において表現していければと考えております。また、政策の土台においても、「スマート自治体への転換」を視点としており、今後の行政運営の指針としていきます。(市街地整備課確認)	4.今後十分に検討すべき項目
9	25 商工業・しごと 現状・課題④ 市の特徴として、「～特に歴史文化資産に恵まれていることや交通利便性に優れている等の～」とされていますが、最先端の医療環境やスポーツ施設の充実を加えてはいかがでしょうか。総合戦略では、市の強みとして、歴史、交通利便性に加え、医療環境やスポーツ施設の充実があげられており、ここでの主な移住者像(子育て世代)とも矛盾はしないと思います。	平成29年度に市内での移住促進に向けた検討会を開催するとともに、移住イベントの参加等社会実験を通じて、移住者像と施策の方向性を設定しました。その施策の方向性の6分野のひとつ「子育て支援」において、【医大等の存在による医療機能の充実度のPR】と明記していますので、ご意見いただきましたとおり「医療環境の充実」については追記いたします。(地域振興課回答)	1.反映した項目
10	25 商工業・しごと 取組み例として記載されている内容に、既に含まれているのだと思いますが、ICTの活用、キャッシュレス決済、テレワークなどの文言を明示(例示的に)してはどうでしょうか。(序論の3社会情勢の中でも、「ICTの急速な普及と社会の変化」が記述されていることも踏まえて、ご検討いただければと思います。)	キャッシュレス決済やテレワーク等の商工業分野のICT技術は、政府が直接推し進めているため、現状は橿原市において関与できることは少ないと思われます。＜創業・新産業＞の「★技術開発・マーケティング・情報発信等の支援、信用保証等の金融支援等を進めます」に含まれており、実施計画において記載される内容と思われます。	3.実施計画にて反映していく項目
11	25 商工業・しごと <中小企業・地場産業> 取組み例に、商店街の活性化、商店街の魅力向上など商店街振興についての記載があってもよいのではないのでしょうか。	商店街については中小企業に含まれており、商店街のみ個別に表記することは困難と思われます。実施計画に記載していく内容と思われます。	3.実施計画にて反映していく項目
12	25 商工業・しごと <創業・新産業> 質問です。取組み例の＜創業・新産業＞の2つ目に、「他の産業集積都市や異業種との連携による技術交流の支援」が記載されていますが、どのような事業を想定されているのか教えてください。	「新たな事業展開や異業種との交流による取引拡大等を支援します」に変更します。事業としては、商工会議所でのビジネス商談会等を想定しております。(地域振興課回答)	6.質疑の回答
13	26 農業 現状・課題① [農作物の安全性の確保]は課題解決のための手段ではないと考えます。	総合計画の冊子には、「手段」と「課題」というような記載はしない予定です。	6.質疑の回答

政策④ みんなが活力と魅力を生み、賑わい溢れるまち			
番号	ご意見内容	回答欄	回答の分類
14	26 農業 現状・課題② [耕作放棄地の解消と発生防止のため ]は〇〇のためという表現であるので、手段ではない。→黄色塗りを消す。 担い手が減少し、耕作放棄地が増加しているとしているので、課題は「担い手の確保・育成」であるので、ここに、「担い手を確保・育成しつつ」と緑色課題を追加してはどうでしょうか。 それに対応した取り組み例としては、＜農業従事者＞の項目にきっちり記述されています。	ご指摘のとおり修正します。(農政課回答)	1.反映した項目
15	26 農業 ＜地産地消・ブランド・農業振興＞ ●[安全な農産物の生産支援 を行います] 安全な農産物の生産支援で、具体的な施策はあるのでしょうか。あるとしたら、それはどんな施策でしょうか。	安全・安心な農業生産の確立を図るため、国際水準GAPを実施し、農薬や化学肥料等への依存度を減らし、環境保全に効果の高い営農活動を支援、促進(環境保全型農業直接支援交付金)します。(農政課回答)	6.質疑の回答
16	26 農業 ＜農業従事者＞ [●農業従事者へ支援を行い、負担軽減 を図ります] 具体的にどのような支援で負担軽減を考えておられるのでしょうか。基本計画では細かい具体的な内容を示さないとしても、あまりに抽象的すぎるように思います。	金銭的支援もあれば、物的、人的支援などあらゆる手段があろうかと思います。「～などの支援」と記載してしまうとその時々状況に対応した実施計画が立てられなくなる恐れがありますので、ご理解の程宜しくお願いいたします。	5.反映が難しい項目



基本計画 政策の土台			
番号	ご意見内容	回答欄	回答の分類
1	方針1～6 人口減少が前提ですべてが構築されているが、そうならない為の基本計画であり総合戦略だと思います。人口動態の現状はともかく、今年のような特異性のある年もある訳であり、基本計画と総合戦略を整合性を考慮して、人口減少を理由として押し出すのはいかかなものかと思います。	新型コロナウイルスの影響は大きいとは考えます。しかし、今後訪れるであろう人口減少社会は、予想以上の影響を与えると考えております。現状は人口減少の幅も小さいですが、将来的には年間千人規模で人口が減少していくことが予想されます。そういったことに対応していくためにも、人口減少を想定したまちづくりを進めていく必要があると考えます。	5.反映が難しい項目
2	方針3 市民生活を支える健全な財政運営 「新たな自主財源を模索するとともに、」という表現が、市民へのさらなる税負担をイメージします。税外収入をアピールするほうがよいのではないかと思います。	「クラウドファンディング等の新たな財源を模索するとともに、」に修正します。(総務課確認)	1.反映した項目
3	行政運営イメージ 公民連携・市民協働とあるが、事業者と市民とが分断されており、事業者(多様な運営主体)と市民をつなぐ自治体の役割が図から見えてこないです。「方針5」で「市民をはじめとする多様な主体との協働」と掲げているので、事業者－市民－自治体の3つが連携するイメージをもっと表現できるとよいです。	ご指摘のとおり修正します。	1.反映した項目
4	方針6 全体の最適化 人口が減少していく中でも、行政運営を持続可能なものにしていくため、市民のニーズや社会情勢の変化に対応しながら、「オープンで機敏かつ柔軟に対応し」行政運営全体の最適化を目指します。PDCA サイクルによる行政評価を推進し、事業のスクラップ・アンド・ビルドを図ります。「オープンで機敏かつ柔軟に対応し」を加えてはいかがでしょうか。アジャイルという意味です。後のスクラップビルド、政策を評価しながら「畳む」ことも重要です。	第4次総合計画の方向性としては、あらゆる事態に対応していくため、スピードと柔軟性を重視しています。ICT技術の活用と絡めて、視点1「スマート自治体への転換」に「機敏かつ柔軟に」という文言を加えます。	1.反映した項目
5	視点1 スマート自治体への転換 「BPRの体制」「エビデンス」「EBPMによる政策立案」「主体」「共創」これらの語句の説明を最後に(注)として書いていただくと分かりやすいのではないかと思います。	第4次総合計画においては、用語集を作成し、注釈を付けます。	1.反映した項目
6	行政運営イメージ 図が解りにくいように思います。	ご指摘のとおり修正します。	1.反映した項目
7	現状 「～多様な主体と「共創」する～」というように、共創という言葉が出てきますが、「共創」の意味を説明することが必要と感じます。	第4次総合計画においては、用語集を作成し、注釈を付けます。	1.反映した項目
8	財政状況の推移 実質収支、経常収支比率などの財政用語については、説明が必要だと思います。	第4次総合計画においては、用語集を作成し、注釈を付けます。	1.反映した項目
9	財政状況の推移 ②市債残高について 表の4年間の数字だけを見ると、あまり減少傾向とはいえず、横ばいに見えます。また、「公債費の縮減により減少傾向」は不正確で、「借入抑制等により減少傾向」とすべきではないでしょうか。	令和元年度においては、さらなる市債残高の減少が見込まれており、減少傾向にあると思われます。文言については、ご指摘のとおり修正します。(総務課確認)	1.反映した項目
10	財政状況の推移 ③基金残高について 表の6年間の数字だけを見ると、減少傾向ではなく、どちらかというと増加傾向に見えます。	令和元年度においては、基金残高の大幅な減少が見込まれており、現状の記載を維持します。	5.反映が難しい項目
11	視点1 スマート自治体への転換 BRP、EBPMについては、説明が必要だと思います。	第4次総合計画においては、用語集を作成し、注釈を付けます。	1.反映した項目
12	視点2 プラットフォームビルダーへの転換 ここでは、「多様な主体と協働」とされていますが、～現状～では、「多様な主体と「共創」する体制を構築していく」と書かれています。協働と共創の違いがわかりにくく感じます。方針5も同様です。	第4次総合計画においては、用語集を作成し、注釈を付けます。	1.反映した項目
13	方針4 情報の戦略的活用と信頼される情報発信 私だけかも知れませんが、「信頼される情報発信」「地域と信頼関係が築かれるような」との表現に、やや違和感を感じます。現状は、信頼関係が無いのでしょうか。また、市は、市民の個人情報を大量に保有されています。適切な情報管理、情報セキュリティに関する記述があってもよいと思います。	現状としては、信頼関係がないわけではありません。しかし、新型コロナウイルスの際の広報や現在の市公式ホームページの状況は改善の余地を残すもので、今後の情報戦略として記述したものです。また、情報管理については、事務事業としては行政運営に体系付けられています。	2.既存の内容で反映している項目
14	視点1 スマート自治体への転換 「持続可能」という文言が重要であり、今後の社会情勢に柔軟に対応していくことであれば、「柔軟に対応」という表現を加えてはいかがですか。	第4次総合計画の方向性としては、あらゆる事態に対応していくため、スピードと柔軟性を重視しています。「機敏かつ柔軟に」という文言を加えます。	1.反映した項目

## ②第2期檜原市まち・ひと・しごと創生総合戦略





全体			
番号	ご意見	回答欄	回答の分類
1	若いお母さんや、近い将来お母さんになる若い女性の移住を獲得しなければならず、女性の目線、特に「子ども」のために何をしてくれるのかというのが、テーマになる。シングルマザーも増加してくる様に思われるので、ひとり親にも優しい施策も必要になってくる。樫原に住めば仕事を紹介してもらえ、子どもはすぐに保育所に預けられ、住むところは面倒みてくれるし、当座の生活には困らない様支援がある。子どもに関しては、能力や個性を最大限に伸ばしてくれる教育が展開されている。	ご指摘のとおりであると考えます。基本目標3で「安心して子どもを産み育てられる環境づくり」を定め、重点施策（基本的方向）で「結婚から子育てまで切れ目のない支援」を掲げる等、今後も女性が子育てしやすい環境を整えてまいります。	4.今後十分に検討すべき項目
2	奈良県立医科大学は令和何年に着工して何年に竣工するのか。新駅から運動公園までの広い道路が出来れば企業やコンビニ等進出してくるのでは。	奈良県立医科大学キャンパスの移転整備につきましては、令和6年度中に教養教育部門、看護学科、体育施設の先行整備部分の竣工を目指しており、令和3年度から造成工事に着手し、令和4年度から建築工事に着手する予定です。研究施設につきましては、当面、現キャンパスの既存施設を利用し、施設の老朽化が進行した段階で、新キャンパスに移転をする予定ですが、現段階では移転時期は未定です。	6.質疑の回答
第1章 はじめに			
番号	ご意見	回答欄	回答の分類
1	P9図 将来ビジョン(案)「はじまり～(中略)～ <u>樫原</u> 」の「樫原」が漢字で記載されているが、総合計画ではひらがなとなっていますが。	ご指摘のとおり修正します。	1.反映した項目
2	P9図 政策の柱が①～④まで記載されていますが、総合計画と同じようなカテゴリを入れてはどうですか。	ご指摘のとおり修正します。	1.反映した項目
第2章 基本目標と重点施策(基本的方向)の体系			
番号	ご意見	回答欄	回答の分類
1	P12の目標値(めざす値)が低いのですか。	ご指摘のとおり考えますが、R7のめざす値の数値は、把握できる最新の実績値を基に、新型コロナウイルスの影響等昨今の社会情勢を踏まえて設定しています。	4.今後十分に検討すべき項目
2	樫原市内の従業員4人以上の事業所数、従業員数がこの数字なのでしょう。新たに誘致・起業した事業所でしょうか。なぜ、従業員3人以下の事業所を除くのでしょうか。	基本目標①数値目標の「市内事業所数」・「市内従業員数」は、毎年統計調査される4人以上の事業所対象の工業統計調査から算出しています。目指す値については、新たに誘致・起業した事業所を含め、既存の事業所も併せての数値となります。	6.質疑の回答
3	「18歳以下の子どもの人数」の「めざす値」が初期値より低下している点が気になります。何もしなければもっと低下するところを、施策の実施によりこの程度にとどめますということだと思いますが、わかりにくいと思います。説明を加えるか、別の表現ができないかご検討頂ければと思います。	他からも同様のご意見を頂戴していることから、数値目標の1つ目を「18歳以下の子どもの人数」から「18歳以下の子どもの増減」に変更しました。初期値は平成26年から令和1年までの子どもの増減数(▲2,101人)で、めざす値は令和1年から令和7年までの子どもの増減数を半分にすること(▲1,050人)を目標に定めました。	1.反映した項目

第3章 基本目標に基づく施策			
基本目標① 地の利を活かしたしごとの場づくり			
番号	ご意見	回答欄	回答の分類
1	◆起業につながる情報発信と支援制度の整備 特に女性(ママさん)の起業家の養成や支援も必要ではないですか。(定住や他市から移住)	ご指摘のとおりと考えますが、P14主な取り組み「起業につながる情報発信と支援制度の整備」は、男女を問わずに取り組むべきであることから、あえて「女性」の記述をしておりません。	4.今後十分に検討すべき項目
2	P14のKPI「空き店舗出店支援件数」ですが、重点施策の内容が起業誘致と起業支援であるため、創業者出店支援件数も加えた指標としてはどうかと思います。	P14KPI「空き店舗出店支援件数」を「空き店舗(創業者)出店支援件数」に変更しました。	1.反映した項目
3	ねらいに「ウィズ／ポストコロナ社会における新たな産業・サービス創出の拠点づくり」も追加してみたいかですか。県立医大がありますので可能であるかと思います。	ウィズ／ポストコロナ社会に対する取り組みは、個別の基本目標でなく総合戦略全体で取り組むべきものと考えられます。今後、社会全体でのウィズ／ポストコロナ社会に対する取り組みが具体化するならば、総合戦略にも盛り込んでいきたいと考えています。尚、P9第2期橿原市まち・ひと・しごと創生総合戦略の位置づけに今後の方向性を示しています。	4.今後十分に検討すべき項目
基本目標② 新たな人の流れや交流を盛んにする魅力づくり			
番号	ご意見内容	回答欄	回答の分類
1	重要業績評価指標(KPI)「今井まちなみ広場・西環濠駐車場の利用台数」のR7めざす値を1の位までの端数が必要となりますか。	ご指摘のとおり修正します。	1.反映した項目
基本目標③ 安心して子どもを産み育てられる環境づくり			
番号	ご意見	回答欄	回答の分類
1	基本目標③安心して子どもを産み育てられる環境づくりの「子育て支援を思い切って強める」「子育て支援を強める」という言い方はあまり聞かない。「充実させる」「広げる」ではインパクトが足りないなら、「支援を強化する」でもよいのではないですか。	ご指摘のとおり修正します。	1.反映した項目
2	「ねらい」の項目2 潜在的待機児童の解消に向けた取り組みの充実はもとより、子育て世代への直接的支援や、保護者同士が交流できる様々な場づくりの促進、「地域による子育て支援など、」多面的できめ細かい子育て支援策を進めます。 [ ]内を追加(説明)出生率が低い市(静岡市や札幌市)では、(世帯、居住、勤めの形態などから)地域に子育てを応援してくれる機能が不足しているのではと議論されています。	具体的な取り組みが見え次第、ねらいや施策等に反映していきたいと考えています。	4.今後十分に検討すべき項目
3	「ねらい」の項目3 書きぶりが簡潔に書きすぎているので、もう少し記載すべきではないですか。	ご指摘のとおり修正します。	1.反映した項目
4	「ねらい」の項目3 ICT環境を整備し活用することがなぜ、「将来への夢を持つ子ども」という姿に直結するのか、それがなぜ「魅力ある教育」なのかハッキリしないので、ICTを活動することがどの子どもの学びになるのか、もう少し説明を入れた方がよいと思います。	ご指摘のとおり修正します。	1.反映した項目
5	◆子どもが夢を持って学べる教育環境の整備 国の施策(ICT)だけでなく、橿原オリジナルかつインパクトのある若い母親が興味と感心を持つ施策を考え、発信する事により他市から呼び込めると思います。子どもの事なら親は何でもします。 KPI:待機児童数(潜在的待機児童を含む) 早急に0にする必要があり、生産人口の減少につながります。	ご指摘のとおりと考えており、基本目標③安心して子どもを産み育てられる環境づくりを定めて、早急に待機児童数(潜在的待機児童を含む)を0にすることを目標に施策を実施していきます。	6.質疑の回答
基本目標④ 安心して健康に暮らせるまちづくり			
番号	ご意見	回答欄	回答の分類
1	2 奈良県立医科大学と連携したまちづくりを進めます 医大との連携は健康分野だけではなく、他の分野とも連携すべきではないですか。	橿原キャンパスタウン構想は、「健康増進のまちづくり」をコンセプトとした事業展開を想定しており、まずは奈良県立医科大学とは健康分野での連携を考えています。橿原キャンパスタウン構想の実現には長い年月を要することから段階的な事業展開を考えており、橿原キャンパスタウン構想実現に向けたハード整備の進捗状況に応じて、多業種にわたる企業が参画しているMBTコンソーシアムとの連携を含め、他分野においての連携も検討していきます。	4.今後十分に検討すべき項目
2	2 奈良県立医科大学と連携したまちづくりを進めます 医大(医療・健康)だけでなく、奈良芸術短期大学も有するので、文化芸術面も考えても特異性が感じられるのではないのでしょうか。	本市では医大だけではなく奈良芸術短期大学とも包括協定を結んでいます。ご意見のとおりと考えますので、具体的な取り組みが見え次第、施策等に反映していきたいと考えています。	4.今後十分に検討すべき項目